

## 静的破碎剤の注入作業中に薬剤が孔から噴出、両目負傷

### 【事故概要】

遮音壁基礎を撤去するため静的破碎剤を使用していた。(施工計画ではコンクリート圧碎機による取り壊しだったが、試験的に静的破碎剤を使用していた。)当日は気温30度にもかかわらず15度以下用(冬用)の破碎剤を使用したため水和反応した薬剤が孔から噴出し、作業員の顔面に飛散した。作業員は防護メガネを着用しておらず、両目を負傷した事故である。

### ■被害の程度■

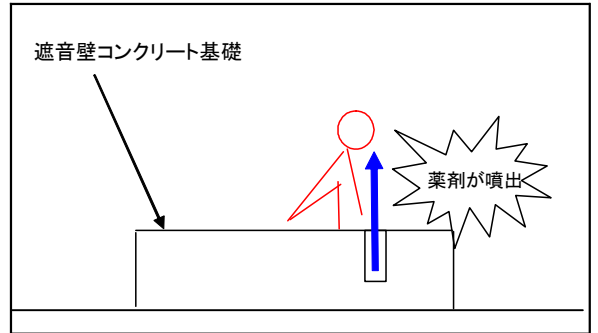
- ・アルカリ性薬剤による両目負傷(右目失明)

### 〔事故原因〕

- ・取扱説明書の作業標準を守らず作業を行った。
- ・防護メガネを着用していなかった。

### 〈再発防止策〉

- 元請・下請で安全な作業手順書を作成し周知徹底する。
- 保護具の着用を徹底・指導する。



削孔径も標準より大きく不適切だった

## 現場内の坂道に駐車させていたユニック車が無人のまま逸走

### 【事故概要】

工事ヤード内にて、4tユニック車に資材を積み込み後、運転席に乗り込もうとした時に、突然4tユニック車が動きだし逸走。現場の立入防止フェンスを突き破り、側道の法面ブロックにぶつかり停止した。タイヤには歯止めがかかっており、サイドブレーキは利いた状態で、ギアはニュートラルだった。

### ■被害の程度■

- ・立入防止柵損傷

### 〔事故原因〕

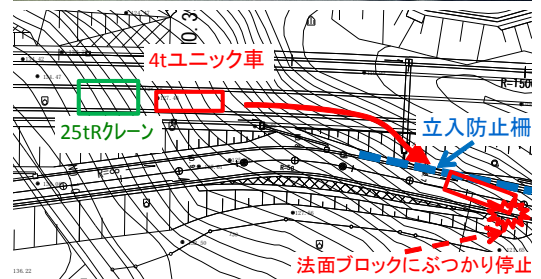
- ・サイドブレーキの引きが甘かった ・ギアがニュートラルだった

### 〈再発防止策〉

- 坂道での積み込み作業チェックリストを作成し以下を確認させる  
「サイドブレーキを利かせる」「歯止めを設置する」  
「ギアを傾斜方向と反対に入れる」



工事ヤードからフェンスを突き破って側道へ



法面ブロックにぶつかり停止

## 駐車時の安全対策に注意!

坂路に駐車している車両が無人の状態では逸走する事故は4月以降2件発生しています。幸い2件とも大きな事故には至りませんでしたが、一歩間違えば第三者を巻き込んだ死亡事故につながる危険な事故です。対策としては、

- 駐車するときは平地を選ぶ

やむをえず坂路に駐車する場合は

- サイドブレーキをしっかりと引く
- タイヤサイズに合った歯止めをセットする
- ギアをローに入れておく

といった対応を確実に行うよう、各現場でも指導・徹底をお願いします。

(裏面につづく)



# 重機との接触事故が連続して発生しています！

作業中のバックホウに足を轢かれる事故が連続で発生しています。作業員は重機の作業半径に入らないよう、また重機作業と人力作業が輻輳しないような作業計画とするなど、各現場において指導の徹底をお願いします。

## その①【事故概要】

埋設管路の埋戻しのため、ダンプに積載した碎石を小型バックホウ(0.2m<sup>3</sup>)で荷下ろし作業中、小型バックホウのオペが後方にいた作業員に気付かずバックしたため、ゴムキャタピラと作業員の足が接触、負傷した。

### ■被害の程度■

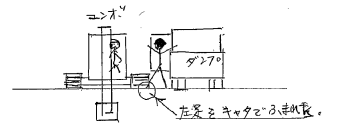
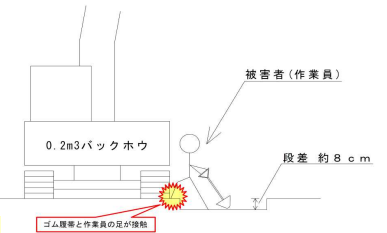
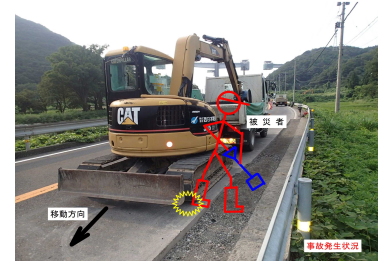
- ・左足関節挫創・捻挫(全治2週間以上)

### 〔事故原因〕

- ・バックホウの作業範囲エリアを、移動範囲も含め立入禁止にしていなかった
- ・事故時は作業見張り員がいない状態だった

### 〈再発防止策〉

- 作業範囲エリアを立入禁止にする。
- 狭隘な作業箇所では見張り員を配置する。



## その②【事故概要】

仮設道路の路盤の陥没箇所を補修するため、ダンプに積載した碎石を小型バックホウ(0.15m<sup>3</sup>)で取り、陥没箇所に補充する作業をしていた。作業範囲は立入禁止にしていたが、作業範囲内に駐車されていたダンプに物を取りに来た作業員がバックホウの接近に気付かず、キャタピラで足を轢かれた。

### ■被害の程度■

- ・左足の踵骨折3箇所、脱臼(親指以外の4本)(全治2.5ヶ月)

### 〔事故原因〕

- ・作業員が不用意に立入禁止区域に入ったため

### 〈再発防止策〉

- 作業指示の遵守を徹底させる。

# レバーブロックの引っ張り時にフックが外れ作業員の顔に当たる

## 【事故概要】

PC上部工事において、主桁の転倒防止アンクル材にレバーブロック(1.6t)のフックを掛け、主桁を引き寄せる作業中、フックがアンクル材から外れ、計測作業をしていた作業員の顔に当たった。

### ■被害の程度■

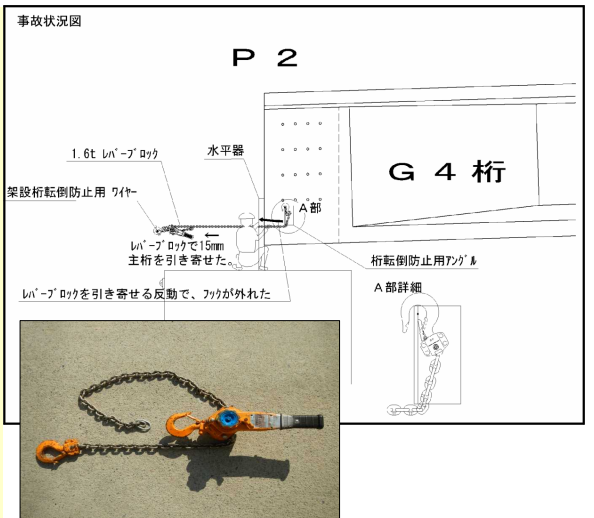
- ・頭部打撲・挫創(全治1週間)

### 〔事故原因〕

- ・作業員はレバーブロックのフック外れ止めが機能していない状態に気付かず使用していた。(使用方法を知らずに作業していた)
- ・作業時のフックの正しい取り付け位置を元読から指示されておらず、作業員の判断で行っていた。

### 〈再発防止策〉

- レバーブロックの使用方法について周知を行う



## 「建設業年末年始労働災害防止強調期間」

## スローガン「無事故の歳末 明るい正月」

年末年始は工事量の増加が見込まれるなか労働災害の多発が危惧されます。

墜落災害等三大災害防止の徹底等、労働災害防止活動に積極的に取り組まれるようお願いいたします。

実施期間：平成25年12月1日～26年1月15日

主唱：建設業労働災害防止協会

